

市民活動サポートセンター運営協議会 第3回団体支援部会報告書

〈開催日時〉 2022年9月8日 午後1時30分～午後3時30分

〈開催場所〉 市民活動サポートセンター

〈出席者〉

団体支援部会： 廣田委員、柿崎委員、齊藤委員、田久保

市民協働課： 矢田係長

ふなばし市民大生体験受入団体： 大橋主査

〈欠席者〉： 森委員

[配布資料]

1. 第2回団体支援部会報告書
2. 第3回団体支援部会スケジュール
3. 各部会の部会報告書およびスケジュール表の共有について
4. プロボノ事始め短縮版
5. ふなばし市民大生体験受入団体一覧
6. 初めてのプレゼンテーション講座募集チラシ（案）

※参考資料

齊藤委員より資料提供『プレゼンテーションとは』

ふなばし市民大生体験受入団体より資料提供『ボランティア養成学科カリキュラム』

〈議事概要〉

1. 前回の部会の内容の確認
2. 市民大生体験受入団体の要望事項

市民大生体験受入担当者へ下記内容の要望事項を示した → 次回（10/13 又は 11/17）回答予定

- (1) ボランティア養成学科以外のまちづくり学部3学科にもボランティア体験をカリキュラムに組み込むことは可能か。
- (2) いきいき学部には例えば「生きがいづくり～ボランティア活動について～」等の切り口でカリキュラムに入れてもらうことは可能か。
- (3) すべての学科において市民活動フェアの案内をオリエンテーションの時間等を使用して実施することは可能か。
- (4) まちづくり学部の修了生に対しボランティア活動の実態を追跡調査することは市民大の業務としても当然のことと思うが如何か。
- (5) 過去に生涯学習コーディネーター連絡協議会が市の予算で実施していた学生募集イベントがあったと思うが、そのような機会にボランティア団体紹介コーナー設置することは可能か

※市民大担当者より

カリキュラムは設置目的に関する各分野に添って編成しているため、他学科にボランティア体験を組み込むことは難しいと思われる。また、カリキュラムは各担当者が作成し年度末にカリキュラム編成会議、運営委員会を経て決定することになるが、ひとまず各担当に確認する。

3. プレゼンテーションのスキルアップ（資料6及び齊藤委員作成「プレゼンテーションとは」資料参照）

目的・・・ボランティア団体の活動の輪を広げるためのアピールするスキルと場を提供する

事務局より各団体に開催案内を周知した結果、9月8日現在参加希望団体は2団体と報告あり。

- (1) 講座企画：日時：10/6（木）14時～16時中央公民館・10/27（木）市役所本庁11階大会議室

(2) 講師：齊藤正和委員・海老田慶周委員

・講義と実践の2回の講座を実施し、アウトプットとして参加者が夏ボラや市民活動フェア、市民大学校での活動紹介などで魅力的なプレゼンができるようになることを目指す。

・今回はプレゼンの対象、プレゼンターも同じ会場で実施する。

4. プロボノの調査、設立の検討（市民参加部会と連携要）資料4参照

(1)プロボノ（基本的考え方・体制・運営・メリット等）について説明を行う（齊藤委員）

※約5年前千葉県の実業「ちばプロボノチャレンジ」としてNPO法人に委託した業務。現在は各自治体で実施。

(2)課題の整理

- ① 設置主体、運営主体は誰になるのか。行政になった場合、予算措置が必要になるとプロボノの意義や必要性、方向性など明確な説明責任が求められる。
- ② 予算規模はどのくらい
- ③ 実行委員会方式は可能か
- ④ 成果物への責任の所在はどうなるのか
- ⑤ ワーカーが集まるのか
- ⑥ 受けたい団体とワーカーのマッチングの難しさ
- ⑦ ニーズ把握のため団体が抱える問題を今後実施する団体アンケートの設問にする

実現に向けて課題整理し今年度に基本構想を作成する

5. 参加団体の問題点等について情報の収集・検討

①アンケートの目的：各団体が現状抱えている問題を認識して対応策を打つ

②アンケートの内容は齊藤委員がたたき台を作成し次回検討する。また、各部会にも照会をかける。

③集計は千葉県電子申請システムを使用し、分析は市民協働課にて実施

④対象は市民活動サポートセンター登録団体（約400団体）

⑤9/22開催のサポートセンター運営協議会全体会にてアナウンスする

<次回開催予定> 令和4年10月13日（水）13：30～

場所：市民活動サポートセンター（予定）

部会報告作成担当者 田久保

次回 廣田委員